



## 開成営農経済センターからのお知らせ

### 営業時間変更のお知らせ

JA の効率的な店舗運営を目的に、営農経済センター・開成グリーンセンターの窓口の営業時間を下記のとおり変更させていただくこととなりました。組合員をはじめご利用者皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 令和5年4月1日(土)より

#### 平日

開成営農経済センター 8時40分～16時00分

開成グリーンセンター 8時40分～16時00分

#### 土曜日・日曜日・祝日

開成営農経済センター 定休日(従来通り)

開成グリーンセンター 8時40分～16時00分

※ 月末営業日(平日)は棚卸のため、15時閉店となります。(3月・9月は12時閉店)

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。 1日・6日・8日・15日・22日・29日は不在となります。 上記以外は在席予定となっておりますが、都合により不在の場合がございます。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 4月11日・25日となります。
棚卸の日	4月3日(月)は監査のため12時からの営業となります。 ご迷惑をお掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。 4月28日(金)は棚卸のため、15時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

### 回覧の注文書について

「果樹夏農薬肥料」「バイオリサカミキリスリム」「スイコー農業製品」

「梅干用資材」「スクミリンゴガイ駆除剤」

※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

### 農薬・資材等の自己取り日について

農薬 : 「野菜・果樹(春)、除草剤」

令和5年4月20日(木)・21日(金)・22日(土)

9:00～15:00 までに取りに来てください。

上記の以外のご注文品はご準備ができ次第、ご連絡いたします。

### 【お茶刈機点検整備会の開催のご案内】

お茶刈機の整備・点検を希望される方は、下記の最寄り会場までご持参下さい。

開催日	会場	受付時間
令和5年4月3日(月)	岡本支店	9:30~14:00
令和5年4月7日(金)	久野営農経済センター	9:30~14:00

※ 4月3日(月)～7日(金)の期間中、西部農機・自動車センターでも受付致します。  
開催場所から遠い場合は西部農機・自動車センターへ持参いただくか、事前に各営農経済センターへお届け願います。

### ～お知らせ～

令和5年度作物別手引き(栽培編・防除編)の更新について

みだしの件、「令和5年度版作物別手引き(栽培編・防除編)」を作成いたしましたので、ご活用頂くようお願いいたします。

また、令和4年度より作物別手引き書につきましては、**冊子での作成・配布は行っておりません**ので、手引き書の取得に際しては、最寄りの営農経済センター窓口までご所望の作物をお申し付け頂くようお願いいたします。

※ホームページへも掲載しておりますので、そちらでも閲覧できます。令和5年4月1日より掲載予定。(当組合HP：<https://ja-kanasei.or.jp/>まで)

### 【野菜苗・しょうが種子受渡日のご案内】

※令和5年度も、自己取り対応になりますのでご注意ください。

管内	日時	引渡場所
福沢支店管内	4月18日(火) 9時30分～11時	福沢支店
開成支店管内	4月18日(火) 13時30分～15時	開成営農経済センター
大井支店管内	4月19日(水) 9時30分～11時	大井支店
岡本支店管内	4月20日(木) 9時30分～11時	岡本支店
南足柄支店管内	4月25日(火) 9時30分～11時	南足柄支店
松田支店管内	4月25日(火) 13時30分～15時	松田支店
南足柄(矢倉沢)	4月27日(木) 9時30分～10時30分	矢倉沢公民館
南足柄(内山)	4月27日(木) 13時30分～14時30分	内山公民館
松田支店(寄管内)	4月28日(金) 9時30分～10時30分	寄自然休養村管理センター

※自己取りの際、コンテナ等の容器をご用意願います。

### ～ 作物管理情報 ～

**※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。**

#### 【キウイフルーツ】

安定した価格で取引されています。高品質な果実生産のため、防除を徹底しましょう。

4月中下旬 花腐細菌病・かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100<sup>リットル</sup>  
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

—————【温州みかん・中晩柑】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。—————

病害虫防除

4月上旬 ミカンハダニ アタックオイル又はハーベストオイル 100倍 1,000ml/水100㍺  
(ハダニ防除は冬季に散布した場合は不要)(3月散布の場合は80倍)

4月上中旬(温州みかん)

そうか病 イデクリーン水和剤 500倍 200g/水100㍺  
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)

又は デランフロアブル (劇) 収穫前30日 3回 1000倍 100ml/水100㍺

※イデクリーン水和剤はマシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けてください。

—————【う め】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。—————

病害虫防除

4月上中旬 かいよう病 マイコシールド 収穫21日前 4回 1,500倍 66g/水100㍺

黒星病 ベルコート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水100㍺

アブラムシ類・蚜類 マブリック水和剤20 (劇) 収穫21日前 2回 4,000倍 25g/水100㍺

又は ダントツ水溶剤 収穫前日 3回 2,000倍 50g/水100㍺

4月下旬 かいよう病 マイコシールド 収穫21日前 4回 1,500倍 66g/水100㍺

黒星病 ストロビードライフロアブル 収穫7日前 3回 3,000倍 33g/水100㍺

5月上旬 黒星病 スコア顆粒水和剤 収穫前日 3回 3,000倍 33g/水100㍺

<黒星病の防除について>

昨年は黒星病の発生が非常に多い年でした！4月上旬・下旬・5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！ 特に、4月の防除に加え、5月上旬にも必ず防除をするようにしましょう！

\*散布は2週間間隔で実施し、前年の被害枝は切除しましょう。

摘 果 4月下旬～5月上旬

果実の大きさが大豆程になった頃が適期です。早く仕上げるほど、肥大はよくなります。

樹木の着果量を確認して小玉果や群状結実しているところを摘果しましょう。

特に梅酒用品種は早期大玉果の出荷が高単価につながります。

—————【いちじく】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。—————

施 肥 3月

春肥 大地のめぐみ 100kg/10a (樹勢により調整する)

早すぎると初期生育が良くなりすぎ、節間が長くなり結果数が減り収量の減少につながるので注意する。

病害虫防除 4月

カミキリムシ類 ガットサイドS 原液塗布 (株元から結果母枝まで塗布) 収穫7日前 3回

アイノキクイムシ 1.5倍液を主幹部に散布 収穫7日前 3回 (1.5倍散布はアイノキムシのみ登録あり)

栽培管理

3月中旬～5月上旬 晩霜・主幹日焼け対策

樹液が動き始める3月中旬頃は晩霜被害が出やすい(特に主枝部分)ので、稲わら等をのせて縛り防寒しましょう。雨に濡れないようビニールで覆うと効果的です。

4月中下旬～5月下旬 敷きわら

降雨の泥跳ねによる病害防止と梅雨明け後の乾燥防止のために、主枝の下に幅1m前後で敷きましょう。

## 【か き】

**病虫害防除** 4月下旬～5月上旬

カイガラムシ類・アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤（劇）収穫前日 3回 4000倍 25g/100<sup>㍓</sup>  
落葉病 アミスター10フロアブル 収穫7日前 3回 1000倍 100g/100<sup>㍓</sup>  
又は エムダイファー水和剤 収穫45日前 2回 650倍 153g/100<sup>㍓</sup>

## 【水 稲】

**塩水選** 水10<sup>㍓</sup>に対してうるち種子は 塩2.15kg、もちは 塩1.26kgを目安としてください。  
浮いたモミを取り除き、底に沈み充実した種モミを種子として使用します。

**種子消毒** **塗抹処理**（農薬液と種子を一緒に混ぜ、種子に均等に付着させる方法。）

種モミは十分に乾燥させ使用する。薬液量は種モミ重の3%で、種モミをかき混ぜながら薬液を垂らし付着させる。処理後も薬剤の効力は持続するので、処理後貯蔵することも可能。

（例）乾燥種子10kg 薬液300ml

（テクリードCフロアブル40ml + スミチオン乳剤3ml + 水257ml）

- \* 種子消毒には浸漬処理もありますが、農薬の廃液が生じない塗抹処理が望ましい。
- \* 消毒済の種モミは、水切り後自然乾燥（水洗いはしない）

**浸種・催芽**

水道水に浸して催芽（ハト胸状態）させましょう。有効な水温は10℃以上です。目安は水温の積算温度100℃（20℃の場合5日）です。

**播種・出芽**

播種量：乾モミで150g～180g/箱

育苗土消毒

播種直前 1箱当たりタチガレエースM粉剤(6～8g)+ダコニール粉剤(15～20g)

又は ナエファイン粉剤（6～8g）を土と混用する。

（山土の場合、ダコニール粉剤を加用する。1箱当たり15～20g）

播種時 1箱あたりタチガレエースM液剤（1000倍）+ダコニール1000（1000倍）の混合液500mlをかん水し、その後播種する。

育苗肥料：20g/箱（育苗土に配合されている場合は必要なし）

温度管理：積算温度60～64℃で出芽させる。育苗器の場合、30℃で2～3日。

**育苗管理**

1cm程度出芽したら、平らに並べ育苗する。

昼間：20～25℃、夜間18℃程度で、概ね7日間で緑化させる。床土保温のため、箱を広げてすぐの夕方のかん水はせず、急激な温度変化を避けましょう。

## 【お 茶】

**施肥** 4月 芽出し肥 摘採20～30日前に10aあたり硫安40kg（2回に分けて行う）

**一番茶の摘採**

本茶の摘採 4～5葉展開を待ち1芯3～4葉を摘みましょう。

刈番茶の摘採 遅れ芽が揃ってから行いましょう。（摘採後7～15日）

一番茶の摘採面で刈る事がポイントです。

一番茶の刈り残し（残してきた1～2節）を絶対にとらないこと。

※摘採後は生葉ムシに注意し、日陰の涼しい所で管理しましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。